

< 2016年度 各学部FD活動 >

	2016年度FD活動	2015年度の総括
法学部	<ul style="list-style-type: none"> ・2016年度も前年度と同様、教学に関する懇談会を年間数回実施する予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月11日教授会終了後、「入門演習におけるキャリア教育・図書館ガイダンス等について」というテーマで教学に関する懇談会を実施し、入門演習を担当している教員間で最近の学生に関する傾向等の情報交換を行った。 ・1月21日教授会終了後、「入学生等に向けた推薦図書」というテーマで教学に関する懇談会を実施し、教員間で初年次教育の重要性を再度確認した。
経済学部	<p>2015年度FD活動と同様に、学部内FD学習会を開催し、積極的に外部FD研修に参加する。</p>	<p>1. 経済学部学外FD研修参加状況 法政大学第10回FDフォーラム、中京大学「アクティブラーニングによる先進的教育事例について」、大学コンソーシアム京都「FDフォーラム」（京都外国語大学）ほか参加研修合計23件に参加した。</p> <p>2. 経済学部内FD学習会 2016年1月21日（木）教授会終了後に「発達障害学生への対応」と題して岡田圭二先生に講演していただき、基本的な対応方法を学習した。 学習会では具体的な事例を想定した質問などが出され、予定時間を超過して学習を進めることができた。</p>
経営学部	<p>1. 新入生歓迎会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営学部ガイドブックを用いたきめ細かな履修指導 ・学生の視点からの満足度を高めるための企画を学生FD委員の参加により実施 <p>2. 学生相談室担当者との意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生相談室担当者を教授会に招き学生が抱えている問題点等について意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生相互の交流や経営学部ガイドブックを用いたきめ細かな履修指導を中心とした新入生歓迎会（4月2日開催）は、経営学科・会計ファイナンス学科から募集した学生スタッフ（学生FD委員）の協力もあり、大変盛況であった。学生の視点からより満足度を高めていくことの必要性ときめ細かな履修指導を継続していくことが確認された。 ・第5回教授会（6月11日開催）において、卒業生による学修成果アンケート結果に基づいて、学生が求めている教育のあり方を中心とする議論を行い、アンケート結果を今後の新カリキュラム検討に向けて活用することを決定した。 ・第6回教授会（6月25日開催）においてFD懇談会を行った。懇談会では、授業内での学生状況とそれへの対応についての事例紹介を基に議論を行い、今後も学生の状況について構成員間で情報・意見交換を行う必要性を確認した。

< 2016年度 各学部FD活動 >

	2016年度FD活動	2015年度の総括
現代中国学部	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生(ゼミ生)及び新入生のアンケートは継続して行う。 ・授業相互見学について、原則として一人一回は年度内に他の教員の授業見学を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業相互見学 授業見学のための期間を設定したが、時間調整が難しく、実際には見学がほとんど行われなかった。 ・卒業生(ゼミ生)及び新入生のアンケート 高い割合でアンケートは回収され、アンケート結果は共有されたが、学部として改善のための討議の場を持つことができなかった。 ・現地プログラム3拠点化 現地プログラムの3拠点化を行い、学生の希望に沿う多様な学習環境を整備した。
国際コミュニケーション学部	<p><英語学科> 2016年度は語学の授業で教員同士が授業参観を行い、お互いに意見を述べあい、それを記録し、学科会議で報告する。そしてそこで出た意見をもとに授業改善に役立てる。</p> <p><比較文化学科> (1) 学科会議における、教学や学生に関する情報交換会の日常的な実施を継続し、問題の掌握に努める。 (2) 在学生に対する学科独自のリサーチを実施し、問題点を洗い出す。 (3) (1), (2)を受けて、特定のテーマを設定したFD活動学習会・懇談会を実施する。</p>	<p><英語学科> 2015年度は英会話の授業でお互いに授業の参観を行い、授業内容、進度、教え方等について意見を述べあい、授業の質を高める努力をした。学科会議での報告は行うことができなかった。</p> <p><比較文化学科> 学科会議において、各教員が気付いた学生の問題点や授業運営上の問題点等を持ち寄って情報交換を実施し、対応を検討した。また、在学生等から問題点等の事例について情報収集し、学科会議に諮りながら対処した。これらの内容について学科会議等の場で日常的に懇談会を実施することで、様々な問題を早期発見・対処・情報共有できたことは、学科として有意義な活動であった。</p>

< 2016年度 各学部FD活動 >

	2016年度FD活動	2015年度の総括
文学部	<ol style="list-style-type: none"> 1. FM豊橋における文学部の教育・研究内容の提示を通じて、教育のあり方の検討と教員の自己研修 2. 人文社会学と現代に関する研究会の実施 3. 新しい教育のあり方についての検討 	<p>2015年度の総括</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. FM豊橋における文学部の教育・研究内容の提示を通じて、教育のあり方の検討と教員の自己研修 2015年度は、教員紹介では、他コースの教員をゲストに呼んだコラボレーション、コース内での複数教員による取り組み、学生紹介では、現代文化コースの学生たちが企画運営している「もやもやスタジオ」についての紹介など、専攻の枠を超えたり、アクチュアルなテーマを意識した企画を行った。 2. 障害学生への教員と学部の対応のあり方について、外部講師を呼んだ研修 2015年度については行わなかったが、2014年度からの研究の蓄積を生かし、2016年より障害者差別禁止法が施行されたのに伴って企画された2016年春の全学FD講演会で、障害学生についての企画を文学部FD委員が行い、またコメンテーターとして、2014年度からの研究に関わってきた、障害学専門の土屋教員が登壇した。 3. 人文社会学と現代に関する研究会の実施 7月23日(木)教授会終了後、第15回人文社会学と現代に関する研究会「21世紀大学の姿を模索するあるいは“大学の脱構築”」を開催した。報告者、下野正俊、司会、櫻村愛子、コメンテーター、吉野さつき。 4. 『愛大文学部の方法』リニューアル 主に人文社会学科総合研究の授業のテキストとして使用している、各コース・専攻の基本的な学問の方法を紹介した『愛大文学部の方法』をリニューアルし、『続・愛大文学部の方法』を作成した。 5. 新しい教育のあり方についての検討 現代文化コースや社会学コースにおいて、チーム・ティーチング、ワークショップ型授業などに取り組んだ。 また、現代文化コースは、2016年度カリキュラム作成において、さらなる拡充を図った。

< 2016年度 各学部FD活動 >

	2016年度FD活動	2015年度の総括
地域政策学部	<p><年度目標></p> <p>(1) 演習科目群における授業の改善を図る。 (2) 学部開設5年の経験をふまえ、学部の特色ある教育の成果を振り返り課題を探る。 (3) 教学や学生生活を支える学内のさまざまな取組みを知り、連携する。</p> <p><活動方法></p> <p>(1) について 担当教員の交流を促進し、教育の質の向上に取り組む。従来の学習法担当者会議、研究法担当者会議に加え、ゼミナールの担当者の経験交流の場を設ける。とくに研究法やゼミナールでのアクティブラーニング、PBLの経験交流を図る。</p> <p>(2) について ①大学間連携共通教育推進事業を進める中で入学前教育、初年次教育の現状や在り方を話し合う。 ②学生地域貢献事業への支援等を通して見出された地域貢献活動の教育的意義や課題を話し合う。 ③アクティブラーニングやPBLの取組み成果や課題を話し合う。 ④キャリア形成支援に取り組む中で、地域に求められる人材養成のあり方を話し合う。</p> <p>(3) について 教職課程センター、学習教育支援センター、図書館、学生相談室、キャリア支援課、学生課、保健室などの担当者各位を教授会に招いて意見交換する。</p>	<p>2015年度の地域政策学部の学部FD活動は、3本柱の年度目標を掲げ、概ね遂行することができた。これらの年度目標は、本学部の恒常的に行うFD活動内容であることから、2016年度も引き続き、同じ年度目標を掲げ、教員の資質向上を目指したい。</p>
短期大学部	<p>1. 独自のFD活動として、春学期・秋学期すべての基礎演習、発想・議論演習、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱにおいて、短大独自アンケートを実施する。</p> <p>2. 初年次教育の支援と本学での「学び」を充実させる目的から、基礎演習等において、図書館や大学記念館（東亜同文書院大学記念センター）、語学教育研究室（ランゲージカフェ）等のガイダンスを積極的に活用する。</p> <p>3. 教育環境や学生生活の改善と向上を図るため、学生支援に関連している事務部門及びセンター等との連携を強化し、教授会の機会を活用して、短大生を取り巻く諸課題についての勉強会や情報交換会を実施する。</p>	<p>短期大学部では学内の授業評価アンケート以外に、短期大学部の必修科目について、それぞれ独自アンケートを実施し、その結果を教授会等で共有した。初年次教育の支援では、「基礎演習」の時間において、図書館や大学記念館（東亜同文書院大学記念センター）、語学教育研究室（ランゲージカフェ）等のガイダンスを積極的に活用し、新入生に対して学びの共通化を促進させた。教育環境と学生生活の改善と向上を図るため、教授会の機会を利用して、短期大学部生の悩み・相談の現状やその対応について、学生相談室と情報・意見交換を行った。</p>